

能登香の里

あわい村

No. 109

発行 令和5年 5月29日
栗井地区自治振興協議会
事務所：福祉センター
76-0334
AWAIMURA.COM

栗井地区村創りの会・総会

【四月三十日】

総会では、令和四年度の事業報告、収支決算報告、令和五年度事業計画、予算案、新役員などが承認されました。また、能登香の里小房運営委員会の収支決算書、農産加工室会計収支決算等が報告されました。

栗井小学校集会所の運営については、栗井地区自治振興協議会の決定をまつてからの報告となります。

村創りの会の総会にもかかわらず、自治振など他組織にまで話題が及び混乱する中、安東議長には 大変なご苦労をかけた。議長の采配と委任状のお陰で何とか無事終えることが出来ました。課題は多く残り、新役員で対応していくこととなります。各組織のスリム化と、組織間の協力も欠かせません。人口減少の激しい中、村創りの会と自治振が、それぞれの強みを発揮し、足りないところを補い合い、協力して栗井地区の振興にあたらなくてはなりません。議論の前提として、自治振は村創りの会の活動を知り、村創りの会は、自治振の仕組み・役割を理解した上で、かみ合う議論をしなければなりません。

「絆とやすらぎの里栗井村」の実現の為に、各組織の主体性を認めつつ、協力の道を探る事が大切です。総会後、名部千秋氏、名部昭夫氏が農水部に入りました。

***六月四日田植え祭り開催**

- 理事：山内俊樹
 - 森本利美
 - 内藤季義
 - 清田芳朗
 - 梅澤孝勉
 - 黒澤
 - 鳥形吉廣
 - 清田幸広
- 監事：
監事：
*ご協力宜しくお願いします。

- 会長：安東寿夫
- 副会長：横林秀樹
- 山本貴雅
- 事務局長：井上幸次
- 経理：光井雅彦
- 広報：有友一正
- 理事：南坂 優
- 池田耕三
- 早水義美
- 永谷義弘
- 三木正人
- 山本美智恵
- 守安弘典
- 小林 誠
- 山本朱実
- 井上康子
- 南坂義寛
- 内藤敦広
- 有友和雄
- 原 知行
- 松井 昇
- 池田秀敏



栗井地区社会福祉協議会

【五月十二日】



最初に包括支援センターの菊池様より、「美作市包括ケアシステム」の説明を聞き、栗井地区社協副会長の栗井周子様（栄養委員会作東支部副支部長）を、栗井地区ケア会議の代表として、「作東地域ケア会議」に出向いただくこととなりました。

次に今年度栗井地区の福祉課題として取り組む大きな課題、高齢化と人口減少、それに伴う役員の選出の課題、常会や共同作業等今までと違う現状、五年後への地区の不安等について、地域ステーションの松本様の人口推移や高齢化率の推移のデータ説明をもとに、熱心に協議していただきました。栗井地区老人クラブ連合会会長からも様々な現状と課題を聞きました。役員の高齢化に伴う各区老人クラブと各区サロン連携の課題は、喫緊の検討事項です。美作市社協でも提案していきます。

十年前の「共生対流事業」ねらいは大字の垣根を越えた集落連携対策でした。総合振興計画は「栗井地区は一戸の家、道は廊下」の考えのもとにお互いの絆を深めることでした。今の人口減少を見通した対策でした。今からでも遅くありません。栗井地区の五年後、十年後を見通した協議も並行して行っていかなくてはなりません。

栗井地区「見守り会議」

【五月二十六日】

各地区に分かれて、おたがいさまネットワーク事業の「見守り会議」を行いました。地区ごとに全戸が掲載された地図を開き、一戸一戸確認していきました。高齢化率52%を超えた栗井地区、本年度の特徴は、見守りが必要な一歩手前、気になる家が大変多くなった事です。いずれは「見守り訪問」が必要になってきます。その時に対応すべく新たな対策の検討が必要です。



春日座で上映会

【五月十八日】



作東公民館、作東愛寿大学合同講座が「春日座」で開催されました。「うちげでいきたい」の上映後、脚本を書かれた奈美町在住の菅原直樹氏のお話を聞きました。介護士の経験をもとに、現在の8050問題や、不登校等社会的課題について、様々な観点からの示唆を頂きました。まさに、栗井小学校集会所で、今実践されている社会的課題でもあり、2017年の「教育機会確保法」の理解も必要です。

栗井小学校集会所運営委員会

【四月二十六日】

児童発達支援放課後等デイサービス「ツリーハウス」関連の当面の予定

ツリーハウスの事前打合せで当面の予定が示されました。地元栗井地区民向けの説明会が六月二十一日（水）に予定されています。ご参加下さい。

五月・中旬行政手続き開始・下旬栗井地区民全戸に内容パンフ配布

六月・言語療育のイベント
二十一日（水）栗井地区住民希望者に事業内容の説明会

七月・ツリーハウス説明会（一般向け）
啓蒙活動（障がい理解のセミナー）

八月・改修工事完了
ツリーハウス体験会 開所イベント

九月一日 営業開始

*設計及び改修工事については地元業者を想定。利用者募集については、事業許可申請に合わせて行う。電気工事は作東支所から「衣笠電水工業の松山氏」を指定するよう指示を受けている。

美作市エゴマ生産部会

【五月 二日】

能登香の里小房
バーベキューハウスで総会&懇親会



昨年同様勝田の部員7名と、栗井の部員11名で令和五年度の総会を行いました。総会後は萩原市長が加わり20名で、焼き肉を中心に懇親会を行いました。栗井の部員の有志は、「おにぎり」を振る舞って頂きました。これも能登香の里小房の収入に繋がります。



「編集後記」 栗井地区の田植えも六月四日の田植え祭りではほぼ終わり、麦刈り、豆類の播種へと続いていく。社協の課題の一つが役員のなり手不足である。特に区長選出はほとんど大変だ。そこで、組織の簡素化が議題に上がってくる。組織を減らせば一人あたりの仕事は増える。仕事を分担すれば参加組織が増える。各組織から、全ての情報を持つ区長を外せば情報が区民に伝わりやすくなり、区民の意思も各組織に届きやすくなる。組織の改編は難題なのである。ましてや各組織は、主体性をもって独自に活動している。いずれにしても、組織設立の目的に沿ってしっかりと議論し、決まれば全員が協力しないとまずまず役員のなり手はなくなり、栗井地区の活性化には繋がらない。正念場が続く。